

オンライン

大阪市立小中対面と併用

遅れる授業

新型コロナウイルスの感染対策として、大阪市教育委員会が市立小中学校で家庭でのオンライン学習と学校での対面授業の併用を始めてから17日で3週間。緊急事態宣言期間中の31日まで続ける方針だが、授業の遅れが目立ち始めているほか、多くの児童・生徒が朝から対面授業を受けている学校もあるなど対応の差も大きい。感染抑止と学習の両立に向けた模索が続いている。(三浦孝仁)



オンライン学習との併用が市教委の方針だが、対面授業が中心の学校もある(13日、大阪市住之江区の市立住吉川小で)

時間割例 大阪市立小中学校の 進度「半分程度」	①		②	
	自宅 (学校)	■オンライン学習 ■プリント学習	自宅 (学校)	■オンライン学習 ■プリント学習
9:00				
10:30	登校			
11:30		■健康観察 ■授業		
12:20	学校			
12:30		給食		
13:00			登校	給食
13:30	下校		■健康観察 ■授業	
15:00	自宅 (学校)	■オンライン学習 ■プリント学習		下校

※ 小学校は①、中学は②いずれも可

多くの学校で1日の授業時間は2時間程度にとどまる。宣言の延長で授業時数の不足はさらに積み上がり、「学習進度はこの時期

やしたりすることも検討

の想定の半分程度」(市小教諭)という。オンライン学習につて、市教委は「各校で内が異なるうえ、対面授業り定着度は低い」との認だ。高校受験を控える中3年の保護者からは、他の市町村との学力格差を配する声も市教委に寄せられているという。

小学1年の子を持つ女(34)は「体育や音楽の授はなく、多様な学びの機が失われている。朝、学に行くという生活リズムが乱れてしまった」と心配している。

市教委は「市内の感染

況などを踏まえ、子供の

を守ることを最優先した

のは承知している」とす

学习の遅れへの対策と

やしたり、長期休暇を短